

職員各位

特定非営利活動法人にじのこ
デイサービスにじのこ

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表アンケート結果のお知らせ

日頃より、当法人の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先日ご協力頂きましたアンケートの集計結果をご報告致します。改善点も含め、支援の質の向上と支援内容の適正化を図るための努力をしておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	課題や、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	5		・曜日や利用者の年齢、人数によっては狭く感じることもあるが、テラス・庭で過ごす等工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	16	2		・連携をしっかりと活動している。 ・マンツーマン利用児の多い日や同じ来所時刻に利用児が重なる場合などに正直大変な時があるが、リーダー職員が指示をして分担しながら適宜対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	2	1	・庭に出る階段等、バリアフリー化されていない箇所はあるが、トイレ・手洗いはバリアフリー化され、使用しやすくなっている。 ・玄関先のスロープの設置。活動場所にはあまり物を置かない。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	15	2		・職員が PDCA サイクルを意識しているとは思えないが、結果的にはほぼそれに沿っている。 ・日常の活動の振り返り等で出た視点を職員が吸い上げながら、業務の改善につなげている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	4		・アンケート結果をまとめたものを職員間で共有し、改善につなげる努力を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	4		・保護者向けのものは、前年度よりホームページに公開し、保護者にも配布している。 事業所向けのものは、課題に対する今年

					度の改善状況を加えた形で、間もなく公開予定。	
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12	2		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を秋から実施し、評価項目の中に改善点を見つけ、実行していった。 ・現場への第三者監査が行われたことがない（と思う）。 	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18			<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修を定期的に行っており、外部研修にも各自参加している。 ・内部研修に加え、外部研修の案内や参加の勧めも数多くある。 ・非常勤も積極的に研修に行くよう働きかけている。 ・定期的に行われている。 ・研修はしっかり参加しています。 	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	2		<ul style="list-style-type: none"> ・心理検査や知能検査等を行っていないが、面談等で聞いた情報を基にしながら、計画作成に活かしている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールは特に使用せず、個別に話し合いをしながら実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが考えている。また、非常勤職員がプログラムリーダーとして立案して実践している。 ・プログラム内容については、各職員が得意分野で行っている。活動後の振り返りで職員の意見を聞き、職員間で話し合っている。 ・チームとは（どういう意味なのか）？ ・プログラム会議という形では行っていないが、子どもたちが興味を持っているものや保護者の要望、普段の振り返りで出た意見を活かしながら、職員が企画している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	2		<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員だけでなく、非常勤職員もプログラムリーダーとして活動を行い、固定化しないよう工夫している。 ・非常勤職員が企画・実行するプログラムを取り入れている。 ・いろいろなバリエーションがあり、充実していると考えます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	13			<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇には午前中からの利用時間にして昼食をつくる等、活動の幅を広げる工

					<p>夫を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（普段は来所の遅い利用者が散歩や買い物に行く機会を設定するといったように、）長期休暇時はいつもと違うプログラムを盛り込んでいる。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	17	1		<ul style="list-style-type: none"> ・個別の活動に関しては、日常の活動の中で無理なく取り入れるようにしている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	18			<ul style="list-style-type: none"> ・活動の内容だけではなく、利用者の現在の様子、特に気を配る点など、丁寧に職員間で共有してから支援に入っている。 ・遅れて入室の職員にも必ず伝達している。 ・一番近々の利用者の情報共有、プログラム確認など。 ・しっかりした打ち合わせがなされていると考えます。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	18			<ul style="list-style-type: none"> ・職員ひとりひとりの感じたことを発言し、反省点があればどのようにしたらよいか皆で話し合う時間を設けている。 ・記録をする前に必ず振り返りを行い、全職員が発言する機会を設けている。 ・（振り返りは）必ず全員参加で行われている。ヒヤリハットの活用。 ・振り返りがしっかりできていると考えます。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	2		<ul style="list-style-type: none"> ・正しい記録のつけ方についての研修を受けている。 ・活動後に記録の時間が設けられている。ケア会議等で記録の仕方について確認はしているが、時々書き方が不十分なこともあるので、随時伝えるようにしている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月程度に1度モニタリングを行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	3		<ul style="list-style-type: none"> ・求められていることを随時確認しながら、日常の支援に行かしている。ガイドラインの視点も意識しながら、地域のコンサートへの参加を決めた。
関係機	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	3		<ul style="list-style-type: none"> ・参加した職員がデイサービスの職員に会議の内容などを伝えている。

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	12			・保護者の方から提出された学校行事のプリントや保護者との連絡ノートを通して情報を得ている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	5	1	・医療的ケア児は在籍していない。 ・現時点では受け入れがないので不明である。 ・実際に連絡した事態はないが、専門医との連携が必要なケースに関しては、対応方法を確認し、医師の連絡先を保護者経由で聞いている。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	2		・幼児グループとの間では情報共有している。 ・幼児グループから移行してきた利用者については密に情報共有を行っている。 ・児童発達支援事業所でも勤務する職員が就学前の様子などを伝えるようにしている。 ・行っていると思うが、非常勤なのでわからない。情報を見ることができるのかもわからない。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	2	1	・行っていると思うが、非常勤なのでわからない。情報を見ることができるのかもわからない。 ・保護者のほうから依頼があった時には情報を提供している。過去に依頼を受けて個別支援計画を卒業生の通所する障害福祉サービス事業所に渡したことがある。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	1		・5月に児童担当の臨床心理士が総合福祉センターから訪問していただき、助言していただいた。 ・現時点で連携しているのかわからない。 ・行っていると思うが、非常勤なのでわからない。情報を見ることができるのかもわからない。 ・外部機関ではないが、STの職員を採用し、摂食やコミュニケーション面の支援に活かしている。赤堤でOTが時々来所し指導を受け有益な視点を得たと聞いたので、今後も技術支援派遣の機会を活かしていく。

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・機会は多くはないが、12月のクリスマス会に参加し、交流を行っている。 ・保護者のほうが必ずしも望んでいるわけではないため、地域の子どもたちも参加するコンサート等に参加する等して無理のない形で交流をしている。法人全体として、地域の子どもたちにも向けたおはなし会と上映会を企画した。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	7	4		<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の中から担当を決めて参加してもらい、報告を受けている。 ・常勤職員が参加していると認識している。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	14			<ul style="list-style-type: none"> ・面談だけでなく、送迎の際、保護者と話をする中で、状況や今困っていることについて話をする機会があり、相互理解に努めている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の内部研修に保護者からも参加していただき、対応力の向上に役立てていただいている。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	1		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にお伝えしている。 ・利用開始の際、丁寧に説明を行っている。フローをつくり直し、保護者にも見せることで流れをわかりやすくしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談があった際は、職員間で共有し、意見をまとめて必要な助言を行えるよう気を配っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	9		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携ができるようバザー委員会を設置している。 ・父母の会・保護者会の形ではないが、バザーの準備等、異年齢の保護者同士の交流を行っている。 ・父母の会・保護者会があること自体知らない。 ・父母の会が負担で他事業者から移ってきたケースもあり、必ずしも保護者のほうが望んでいない場合もあるので、バザーの手作り品制作等で無理なく交流する機会を設定している。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情窓口を設けている。 ・現時点では苦情はないが、あった場合には適切に対応できるよう職員間で周知している。 ・苦情等にしっかりした対応がなされていると考えます。 ・もし苦情が起こってしまった場合は、迅速に対応することで、保護者との連携を深められるように配慮している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17			<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のにじのこだよりを各利用者に配布している。また、連絡事項がある場合には、その都度全員に行き渡るようプリントを配布している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	18			<ul style="list-style-type: none"> ・鍵のかかるロッカー内で保管している。 個人情報の提供に関して同意書を取り、それに基づいて広報活動を行っている。 ・注意しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	1		<ul style="list-style-type: none"> ・発語のない利用者に対して、絵カードやマカトンサインを活用してもらうことで本人の意思を少しでも汲み取ろうとしている。 書類の記入等で配慮の必要なケースがある場合は、個別に対応している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・バザーやクリスマスコンサートなど、地域のイベントに参加し、連携を図っている。 ・事業所に招待する機会は設けていないが、地域で行われる催し物に参加している。 ・バザーが行われている。 ・給田の施設開放は実施していないが、法人全体で地域住民にも開いた地域交流イベントを実施した。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	16	2		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアルに関しては、保護者・職員に周知している。感染症対応マニュアルのファイルは職員がいつでも手にとることができるようにしている。防犯マニュアルについては整備していない。 ・マニュアルはあるがまとまっていなかったため随時整理が必要。 ・感染（症）についてマニュアルがしっかりとできています。

③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18			<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、職員・利用者と避難訓練を行っている。 ・非常勤職員も含めて順番に訓練のリーダーを行い、振り返り・記録・改善もしている。 ・非常勤も訓練を企画することで備えることができている。 ・しっかりできています。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	18			<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、法人全体で虐待防止研修を受講している。普段の振り返りの中で、気になることは随時確認するようにしている。今後は3ヶ月に1回ほど少しでも気になる事例を意識的に取り上げ検討していく予定。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13	2		<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子のベルトなど、移動時に必要な場合においては、保護者の了解を得て、個別支援計画に記入している。 ・全体的に職員で検討会があり、決まっているのか（わからない）。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの聞き取りで対応している。 ・年度初めに保護者にアレルギーについての書類を提出していただいている。 ・医師からの指示を、保護者経由で確認している。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	18			<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で常に共有している。 ・口頭でヒヤリハットを伝えるとともに、書いたものに全員が目を通すようチェックを入れている。 ・職員会議でも確認し、法人全体で共有して今後役に立っている。

*職員 18名提出（項目により無回答あり）

事業所向け自己評価表の集計結果

1. 保護者との認識のズレがあったと思われるもの

①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

→保護者の認識とのズレとまではいかないが、体の大きな高校生が集まると少々狭く感じるという意見があった。身体が大きく動きの激しい子と低学年の子が接触して怪我をしないよう、より安全面に配慮していく。

2. 職員同士に認識のズレがあったと思われるもの

⑩活動プログラムの立案をチームで行っているか

→プログラム会議という形では行っていないが、職員が分担して企画している。今後も子どもたちが興味を持っているものや保護者の要望、普段の振り返りで出た意見を活かしながら、それぞれが分担してチームとして企画していく。

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか／⑨ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか

→ガイドライン等は手に取れる所に常時設置しているが、全員に周知し、疑問に思うことに関しては、随時伝えていくようにする。計画の内容については、振り返り時等に丁寧に職員に伝えていく。

3. 今後の課題として

これらの結果として、今後改善するべきである支援の目標を引き続き「利用者がヘルパーとの関係を育みながら社会的な体験を積むことができる送迎の部分より大事にしていく。」とする。仕事をする保護者が増えている中で、長期休暇の利用について、引き続き介護事業との連携を図りながら、個別のニーズに応じられるように検討していく。

平成 31 年 3 月 16 日

特定非営利活動法人にじのこ

デイサービスにじのこ給田

担当 須藤

T E L 03-3308-5482